

多文化共生事業事例集

年度
29

団体名

公益財団法人
岐阜県国際交流センター

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

ジャンル

事業費総額 1,140千円

居住

事業名

外国人の子ども・保護者向け生活設計支援事業

特徴

日本での定住に必要な教育制度や費用、就労などの情報を提供し、保護者と子供の生活設計を支援する。

事業のポイント

- ◇ 定住化傾向のブラジル、フィリピンの保護者を対象に、教育制度、教育にかかる費用、日本での生活に必要なお金や貯蓄をテーマに講座を実施。
- ◇ 身近なロールモデルである社会で活躍する先輩と外国にルーツをもつ子供が話す機会を設け、働くことや将来を考えるきっかけづくりを行う。
- ◇ 上記の内容をガイドブックにまとめ、多言語化し、県内小中学校、高等学校等に配布し、広く周知した。

事業の背景・目的

- ◇ 外国人の永住化が進行する中、未だ保護者の教育制度や費用等への理解不足、金銭面の備え不足から、子供の進学へ大きな影響を及ぼしている。
- ◇ 子供たちは身近にロールモデルがいなかったり、進路に関する情報が不足していることから、自分の将来の姿を描きづらい状況にある。
- ◇ 家族が安心して定住するために、最低限必要な情報を提供し、自ら生活設計をすることが必要。

事業の概要

〔1〕保護者向けライフプラン講座の実施

日本の教育制度、教育にかかる費用、日本での生活に必要なお金や貯蓄をテーマに講座を実施。

第1回	H29.7.7 可児市今渡北小学校 32名参加
第2回	H29.9.18 メディアコスモス 11名
第3回	H29.10.21 可児市蘇南中学校 20名
第4回	H29.11.17 美濃加茂市東中学校 4名
第5回	H30.2.10 美濃加茂市初期指導教室 32名

〔2〕外国にルーツをもつ子供向けライフプラン講座

社会で活躍する先輩からのアドバイスや、正社員と非正規社員との違いなど働き方講座を実施。

第1回	H29.10.21 可児市蘇南中学校 39名
第2回	H30.1.19 可児市国際交流協会 7名
第3回	H30.2.8 HIRO学園 18名

〔3〕保護者向けライフプランガイドブックの作成

保護者・子供向け講座の内容をガイドブックとして日本語、ポルトガル語、タガログ語で作成し、ホームページ、SNSで公開するとともに、出前講座時や県内学校等に配布した。

○ガイドブックの内容

- (1) 日本の教育制度と教育費用
小学校から大学までの教育費、公立と私立の教育費の違い、教育資金の貯め方、学資保険、教育資金を補う制度・助成進学、就職の夢を叶えた外国人の子ども、保護者の体験談
- (2) 雇用形態、働き方
正規雇用と非正規雇用の働き方、給与、手当の違い、メリットとデメリット
- (3) 定住のために知っておくべき制度・お金、社会保障制度等



子供向け講座の様子



社会で活躍する先輩の講話

事業実施における工夫点・事業の成果等

- ◇ アンケートによると、保護者からは教育費が想像以上に必要だった、車の購入等も時期を考える必要がある、などという意見が多くみられ、具体的なプランを立てることの重要性を理解してもらうことができ、効果的な講座となった。
また、子供からは多様な働き方を理解できた、家族と将来の相談をしたいという感想が寄せられ、将来を考えるよいきっかけとなった。
- ◇ 社会で活躍する先輩の講話では、自分と同じ背景の先輩の努力やアドバイスを聞き、モチベーションが上がったという声が寄せられた。
- ◇ 生活設計は、保護者と子供の家族が全員で考える必要があるため、ライフプラン表（右写真）を提供し、家に持ち帰って家族で相談いただけるよう工夫した。
- ◇ ガイドブック作成に当たっては、これまでの講座内容を集約し、ライフプランナー、教育委員会、NPO等関係機関に確認等のに協力をいただいた。
- ◇ ガイドブックには、情報を随時更新できるようにQRコードを導入し、ホームページにリンクするよう工夫した。
- ◇ 講座の開催においては、忙しい保護者にできるだけ多く参加いただけるよう、学校と連携し、保護者会や授業参観等、学校行事の後に開催した。

● 家族の10年プラン記入例

○ ライフプランとは(自分の将来の具体的な計画)

○ その実現のためには(お金(資金)準備も必要。)

単位: 万円

項目	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
収入										
収入1	342	344.7	346.4	348.2	349.9	351.7	353.4	355.2	357.0	358.7
収入2	0	24	0	0	204	204	204	204	204	204
収入計(収入)	342	368.7	346.4	348.2	553.9	555.7	557.4	559.2	561.0	562.7
支出										
支出1	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
支出2	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
支出計(支出)	315	315	315	315	315	315	315	315	315	315
貯蓄	27	53.7	131.4	133.2	248.9	240.7	257.4	244.2	261.0	258.7
貯蓄計(貯蓄)	27	53.7	131.4	133.2	248.9	240.7	257.4	244.2	261.0	258.7
資産										
資産1	342	686	1030.4	1374.6	1718.8	2063.0	2407.2	2751.4	3095.6	3439.8
資産2	0	24	0	0	204	204	204	204	204	204
資産計(資産)	342	710	1030.4	1374.6	1922.8	2267.0	2611.2	2955.4	3300.0	3643.8
負債										
負債1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負債2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負債計(負債)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純資産	342	710	1030.4	1374.6	1922.8	2267.0	2611.2	2955.4	3300.0	3643.8
純資産計(純資産)	342	710	1030.4	1374.6	1922.8	2267.0	2611.2	2955.4	3300.0	3643.8
総資産	342	710	1030.4	1374.6	1922.8	2267.0	2611.2	2955.4	3300.0	3643.8
総資産計(総資産)	342	710	1030.4	1374.6	1922.8	2267.0	2611.2	2955.4	3300.0	3643.8

保護者向け講座の資料一部（日本語版）
（10年間の具体的なライフプラン表）



ライフプランガイドブック
（日本語、ポルトガル語、タガログ語版）

今後の課題・将来に向けての展望等

- ◇ 近年は、ニューカマーを含め在住外国人が増加傾向であるため、子どもと保護者への情報提供は繰り返し継続していく必要がある。
- ◇ また、参加者より「さらに深くライフプランの相談に乗ってもらえる機会が欲しい」という意見が多数あるため、相談会などを実施し、一歩進んだ支援を行いたい。
- ◇ 今後は、ガイドブックの活用に加え、講座の動画を多言語で作成し、学校等に配布するとともに、WEBで公開し、講座を受講できない方に対して広く周知をする予定。

事業担当者のふりかえり

- ⇒ 本事業を通じ、長く住んでいる方でも未だライフプランの設計が定まっていないことが多いと知り、子供たちがこの地域で活躍するためにも、繰り返し情報を提供をしていくことが重要であると実感した。
- ⇒ 本講座に参加した保護者は、比較的子供の教育に関心のある方、時間に余裕のある方であり、ごく一部にすぎないので、いつでもだれでも参加できるようWebを活用するなど、情報提供方法に工夫が必要。